

JARL 神戸クラブ創立 55 周年記念事業  
兵庫県ひょうご安全の日 登録事業

## 阪神淡路大震災 20 年メモリアル特別局 8J3EQ 実施報告書

項目

1)	背景と趣旨	2
2)	実行委員会担当役員一覧と実施経緯報告	4
3)	兵庫県ひょうご安全の日登録事業申請書	6
4)	近畿総合通信局への開局申請と無線局免許状	7
5)	定款、特別局運用内規、構成メンバー	8
6)	QSL カード	12
7)	8J3EQ ルミナリエ 20 アワード	13
8)	広報：CQ 誌での紹介記事	14
9)	グループ移動運用	15
10)	QSO 交信結果 総数、地域別、モード別、オペレータ別	18
11)	8J3EQ ロールコール実施結果	21
12)	会計報告	22
13)	結び	23

## 1) 背景と趣旨

2010年に阪神淡路大震災15年に際し、神戸クラブ創立50周年記念事業として、8J3EQ 阪神淡路大震災メモリアル特別局を設立し、約半年間運用しました。阪神・淡路大震災からの復旧・復興の状況や震災から得られた様々な教訓を踏まえ、「非常事態その時」には、アマチュア無線を通じてボランティア活動が実行できるように、広く周知啓蒙をはかることを目的として運用活動を行いました。

このEQ(Earth-Quake)局は、その後、1，4，7エリアでも各エリアの特別局として開局され全国展開しました。また2011年には、さらに大きな東日本大震災が発生し、非常時の無線通信の重要性が改めて認識されました。

2015年は阪神淡路大震災後20年で、兵庫県内では阪神淡路大震災20年を大きな節目とする多くのメモリアル行事が行われます。このような背景のもと前回2010年の運用経験を活かして、神戸クラブ創立50周年記念事業として阪神淡路大震災20年メモリアル特別局を再度開設し、前回同様、災害に備えての非常通信の重要性を啓発するため、運用活動を行いました。(詳細は、次ページパンフレット参照)



2015年1月17日 開局式集合写真



## 阪神・淡路大震災 20 年 メモリアル特別局



# 8J3EQ

主催 阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会(略称 ひょうご防災ネット)

JARL 神戸クラブ創立 55 周年記念事業

兵庫県・ひょうご安全の日推進県民会議主催 阪神淡路 20 年 登録事業

(本事業は、2010年に行った阪神・淡路大震災 15 周年メモリアル特別局8J3EQ

に準じた 20 周年のボランティア活動として実施しております。)

運用期間 2015 年 1 月 17 日 から 2015 年 7 月 16 日 まで

(一部、2014 年 11 月から準備運用)

実行委員会 JARL神戸クラブ会員を核とし、趣旨に賛同するアマチュア無線家で構成

趣旨 阪神・淡路大震災を経験した私たちはその体験の教訓をいつまでも忘れることなく継承するとともに、「災害などによる非常事態」が起きたときには、日頃、趣味で使っているアマチュア無線の電波を駆使して、ボランティア活動で社会貢献に寄与できることを心得ています。

あの震災から時を経ると、防災ボランティア活動を「自分のこと」と、捉まえにくいのも現状であります。

阪神・淡路大震災からの復旧・復興の状況や震災から得られた様々な教訓を踏まえ、「非常事態その時」には、アマチュア無線を通じてボランティア活動が実行できるよう、日常活動として個々のアマチュア無線局のネットワークを構築し、効率的な通信の確保のため日頃の訓練に精励し、広く周知啓蒙をはかることを目的とします。

### 活動内容

(1) 兵庫県内のアマチュア無線家(約 2 万局、稼働約 5000 局)を中心に、全国各地と交信し、災害発生時にボランティア活動による非常通信への参加を周知する。また、直接参加しないアマチュア局は聴守することの必要性を啓蒙、周知をはかる。

交信相手局にはがき大のパンフ(QSLカードと称す)を配布する。このパンフには20周年事業及びロゴ・マークを掲示し、事業の趣旨を提言にまとめて表示する。

交信局数の目標を延べ 1 万 5 千局とする。

(2) 2015 年 1 月 17 日、18 日 震災メモリアル日に特別局による公開運用を行う。

以後、期間中数回、兵庫県各地の数カ所に移動して公開運用を行う。

公開運用では、一般のアマチュア無線家が従事者免許証を携帯すれば参加できる。

(3) 「ひょうご防災ネット」に参加するアマチュア局によって、JARL神戸クラブが運用するレピーターを使って、毎月1回 ロールコール通信(順次呼び出し・情報交換)を行う。

## 2) 実行委員会 担当役員と実施経過報告

### 実行委員会担当役員一覧 (敬称略)

実行委員長	: JA3BAM 大林
実行副委員長	: JA3BJH 柳原、 JA3KQN 岡田
運用日程管理	: JA3AQE 菅原
移動運用管理	: JA3KUL 久木留、 JR3EOI 岡本、 JS3XOR 田口 (兼)
ログ管理	: JH3HGH 松浦、
QSL 発行	: JA3JTU 村田
広報記録担当	: JR3DNL 金澤、 JA3JTU 村田 (兼)
設備管理	: JA3KIO 満田 (兼)
会計	: JS3XOR 田口
監査	: JA3HAV 岡久
事務局	: JA3KIO 満田

### 実施経過報告

2014. 1. 12 新年ミーティングにおいて、2015 年に阪神淡路大震災 20 周年を迎えるにあたり、15 周年と同様に阪神淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会を立ち上げ、ボランティア活動による災害救援非常通信の重要性を伝えるための特別アマチュア無線局を開局し、約半年間運用していくことになった。
2014. 2. 9 阪神淡路大震災メモリアル実行委員会 (20 年) を立ち上げ第一回実行委員会実施。
2014. 4. 13 神戸クラブ総会にて、クラブ創立 55 周年事業として、神戸クラブが核となり実施することが合意された。
2014. 4. 13 第二回実行委員会実施。各種担当役員決定。
2014. 9. 14 第三回実行委員会実施。兵庫県への事業登録申請手順、近畿総通への開局申請日程などを討議。
2014. 9. 17 兵庫県ひょうご安全の日推進県民会議担当者を、委員長大林と事務局満田で訪問し、阪神淡路大震災 20 年メモリアル特別局 8J3EQ 事業を、兵庫県登録事業として登録申請した。  
(9 月 26 日、受理書類入手)
2014. 10. 10 近畿総合通信局へ、委員長大林、副委員長柳原、事務局満田の 3 名で出向き、8J3EQ の開局趣旨説明と開局申請書提出を行った。  
兵庫県登録事業受理書類、開局申請書、特別局定款、構成員名簿等を提出。
2014. 10. 25 8J3EQ 無線局免許状入手。

有効期間 2014. 10. 24～2015. 7. 16

2014. 11. 4 8J3EQ のプレ運用（準備運用）開始。以降、有志にて個人移動運用。
2014. 12. 14 第四回実行委員会実施。開局式と開局運用（1月17、18日）の準備打ち合わせ。
2015. 1. 11 第五回実行委員会実施。1月17、18日の開局式/公開運用の最終打ち合わせ。  
特別局アワード“ルミナリエ 20”の設立準備。QSLカード準備。8J3EQ 特別ロールコールの  
進め方打ち合わせ。
2015. 1. 17～18 神戸市西区 雌岡山 山上駐車場にて開局式とメモリアル運用  
17日早朝 1995年地震発生時刻でのCQ発信とQSO運用。  
17日10時30分より、開局式実施。  
17日PMから18日15時まで、メモリアル公開運用。
2015. 2. 8 第六回実行委員会実施。来期予算、移動運用の打ち合わせ。
2015. 3. 1 JA3AOP 杉山様淡路市DX Shackをグループ移動訪問。アンテナお借りし淡路市よりグループ  
移動運用。
2015. 3. 8 第七回実行委員会実施。グループ移動運用の予定討議。
2015. 4. 12 第八回実行委員会実施。グループ移動運用の準備打ち合わせ。
2015. 4 兵庫県全市区町でのQRV移動運用達成。
2015. 5. 5-6 上郡町 JA3EGZ 妻鹿様の山頂Shack訪問。山頂にてグループ移動運用。
2015. 5. 9-10 神戸クラブ月例行事として淡路島 洲本市柏原山に移動運用。関西VHSコンテストに8J3EQ  
としてエントリー参加。
2015. 6. 14 第九回実行委員会実施。7月6mDownコンテスト準備打ち合わせ
2015. 7. 5 播磨町新島海岸沿いにてグループ移動運用。6mDownコンテスト参加。
2015. 7. 16 運用最終日。
2015. 9. 13 会計最終締め。  
9月度神戸クラブミーティングにて運用結果報告。
2015. 10. 4 8J3EQ 運用予算の残金を神戸クラブ会計に返納。

### 3) 兵庫県ひょうご安全の日登録事業申請書

兵庫県ひょうご安全の日推進県民会議担当者を、委員長大林と事務局満田で訪問し、阪神淡路大震災 20 年メモリアル特別局 8J3EQ 事業を、兵庫県登録事業として登録申請した。

平成 26 年 9 月 16 日

ひょうご安全の日推進県民会議会長 様

申請者	所在地	
	団体名	阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会
	代表者名	大林 哲也 

#### 阪神淡路 20 年事業届出書 記

事業名	阪神・淡路大震災 20 周年メモリアル特別局 8J3EQ		
行事開催期間	平成 26 年 11 月 1 日～ 平成 27 年 9 月 30 日を予定		
実施場所	施設名	兵庫県各地のアマチュア無線家 宅内、又は野外	
	所在地	(無線局常置場所)	
実施内容	<p>期間中、主に兵庫県内各地で移動してアマチュア無線の通信を行う。 平成 27 年 1 月 17, 18 日 震災メモリアル日に特別局による公開運用を行う。 場所：(候補地) 神戸市西区、雌岡山</p> <p>ボランティア活動による災害救援通信の重要性を啓発する通信を行う。 防災訓練通信を一般市民に公開し、実際の運用を展示する。 交信相手局に災害通信の啓蒙周知はがきカードを配布する。</p>		
実施目的・効果	アマチュア無線家に災害発生時にボランティア活動で災害救援通信への参加と意義のあることを啓蒙し、防災通信訓練に参加を促す。 一般市民にアマチュア無線による防災通信活動を理解してもらう。		
その他	平成 21 年にひょうご安全の日推進県民会議の認可をいただき、阪神・淡路大震災 15 周年メモリアル特別局 8J3EQ を運用しました。前回に準じた 20 周年活動として実施します。		
参加者	参加対象	兵庫県内 1 万人 (全国 10 万人) アマチュア無線家及び地域住民	
	参加予定者数	兵庫県内 2000 人 (全国 1.万 5 千人)	
	参加費	無料	
担当者及び連絡先	住所		
	氏名	満田 克己	
	電話番号		F A X 同左
	E-mail	HP に問い合わせ窓口が有ります	
	H P	www.ja3ybl.com	
	その他	届出の受理後、総務省近畿総合通信局に特別局の免許申請をいたします。 (別紙) 趣旨・活動説明シート、前回はがきカードサンプルを参照下さい。	

郵便物  
うち

平成 26 年 9 月 17 日届出受理(批)に。 ひょうご安全の日推進県民会議

#### 4) 近畿総合通信局への開局申請と無線局免許状

兵庫県ひょうご安全の日事業への登録後、2014年10月10日に、近畿総合通信局へ、委員長大林、副委員長柳原、事務局満田の3名で出向き、8J3EQの開局趣旨説明と開局申請書提出を行った。

(10月25日に局免入手。有効期間2014.10.24~2015.7.16)

2014年11月、リグ追加の変更申請を行い受理された。

### 無線局免許状

氏名又は名称		免許の番号		近A第597746号		識別信号		8J3EQ		
氏名又は名称		阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会 大林 哲也								
免許人の住所										
無線局の種別		アマチュア局		無線局の目的		アマチュア業務用		運用許容時間		常時
免許の年月日		平 26. 10. 24		免許の有効期間		平 27. 7. 16 まで				
通信事項		アマチュア業務に関する事項				通信の相手方		アマチュア局		
移動範囲		陸上、海上及び上空								
無線設備の設置場所/常置場所		満田様方								
電波の型式、周波数及び空中線電力										
A1A		1910 kHz		50 W		3VA		435 MHz		50 W
3HA		3537.5 kHz		50 W		3SA		1280 MHz		10 W
3HD		3798 kHz		50 W						
3HA		7100 kHz		50 W						
2HC		10125 kHz		50 W						
2HA		14175 kHz		50 W						
3HA		18118 kHz		50 W						
3HA		21225 kHz		50 W						
3HA		24940 kHz		50 W						
3VA		28.85 MHz		50 W						
3VA		52 MHz		50 W						
3VA		145 MHz		50 W						
備考 1280 MHz帯を常置場所以外で使用する場合は、1W以下に限る。										

法律に別段の定めがある場合を除くほか、この無線局の無線設備を使用し、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

平成 26 年 10 月 24 日

近畿総合通信局長



## 5) 定款、特別局運用内規、構成員名簿

前回（阪神淡路大震災 15 年）からの変更点

- ①定款：事務所住所変更
- ②特別局運用内規:変更なし

---

### 定 款

(名 称)

第1条 本社は、阪神淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会 という。  
略称を ひょうご防災ネット とする。

(事務所)

第2条 本社の事務所は、 に置く。

(目 的)

第3条 阪神・淡路大震災を経験した私たちは、営利を目的としないで、ボランティア活動による電波法第52条第4項による非常通信への参加の意義を周知し、災害時の非常通信の健全な運用を啓蒙し、社会の福祉に寄与し、あわせて無線科学の向上と発展に貢献する事にある。

(事 業)

第4条 本社は前条の目的を達成する為、次の事業を行う。

- (1) アマチュア局（特別局を含む）の設置と運用
- (2) アマチュア無線についての調査研究
- (3) その他、本社の目的達成に必要な事業

(会員の資格)

第5条 本社の会員は、本団体の趣旨に賛同して会員登録に同意し、アマチュア局の無線設備の操作をおこなうことができる無線従事者の資格を有する者（施行規則第34条第8号に規定する者を含む。）とする。

(会員の資格の喪失)

第6条 会員は次の場合に資格を失う。

- (1) 死亡
- (2) 電波法令に違反し、罰則の適用を受けたとき
- (3) 本社の目的に反する行為をしたとき
- (4) 本社の秩序を乱す行為をしたとき

(会員の権利)

第7条 会員は本社の設置するアマチュア局その他の設備を利用すること。

(委員の選任と権利)

第8条 委員は会員の中から選任し次の権利を有する。

- (1) 本社の設置するアマチュア局その他の設備を利用すること
- (2) 総会の議決権を行使すること

(会 費)

第9条 委員は、次の会費を納入しなければならない。

(1) 入会金 1,000 円

(2) 会費(月額) 100 円

(役員)

第10条 本団には理事3名、監事1名を置き、委員長は理事の中から選任する。

(役員任期)

第11条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員業務)

第12条 役員業務は次のとおりとする。

(1) 委員長は、本団を代表し、業務を掌理統轄する

(2) 理事は、委員長を補佐し、本団の業務を執行する

(3) 監事は、会計および理事の職務を監査する

(理事会)

第13条 理事会は委員長が招集し、本団の業務の執行に必要な事項を決定する。

(総会)

第14条 総会は、通常総会と臨時総会とする。

(1) 通常総会は、毎年1回委員長が招集する

(2) 臨時総会は、理事会または委員の2分の1以上から理由を付して要求があったときに開催する

(決議方法)

第15条 総会、理事会の決議は、出席者の過半数をもって行い、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会議事)

第16条 総会に付議する事項は次のとおりとする。

(1) 事業計画、予算、決算

(2) 定款の変更

(3) 会費、重要な財産の得喪、変更

(4) 解散

(総会議事)

第17条 本団の資産は、設立当初の寄付財産、会費、寄付金、その他の収入とする。

(会計年度)

第18条 本団の会計は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(届出)

第19条 委員長は下記の場合、遅滞なく届け出を行わなければならない。

(1) 構成員に変更があった時は、すみやかに総合通信局長に届け出ること

(2) この定款または理事について変更しようとする時は、あらかじめ総合通信局長に届け出る。

---

## 阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク特別局利用内規

(目的)

第1条

阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク（以下「ひょうご防災ネット」という）の特別局の円滑な運

用及び適正な管理についてはこの内規の定めるところによる。

(運用)

## 第2条

特別局運用の種類は「公開運用」「固定局運用」「移動局運用」とする。

公開運用は阪神・淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会（以下当委員会とする）の管理のもとに公開の場所において定款第5条の定めによる会員が運用できる。

固定局運用は当委員会が設置した固定局を特定の会員が運用できる。

移動局運用は当委員会が許可した定款第5条の定めによる会員が個人的に運用できる。

## 第3条

公開運用で特別局の運用を希望するものは別に定める「公開運用申込者」を提出しなければならない。

ただし、JARL神戸クラブの正会員はこの限りでない。

## 第4条

公開運用で運用する会員は従事者免許証を持参し現場の当委員会の指示に従わなければならない。

## 第5条

移動局運用を希望するものは当委員会に申し込み、運用管理者の許可及び管理に従わなければならない。

(運用の詳細)

## 第7条

特別局の運用の詳細は別に定める「運用マニュアル」を参照すること。

(会費)

## 第8条

特別局の運用者（注：構成員名簿登録者、等）から入会金および会費は徴収しない。

(ログの記入・提出)

## 第9条

特別局の運用者はすべての運用記録を所定のログシートに記録しなければならない。

運用の終了後できるだけ早急に電子ログで（Turbo HAMLOG）、データのみをログ管理者に提出しなければならない。

電子ログの記録については別に定める詳細を参照すること。

電子ログが不可能な場合はログシートで提出。

(ログの管理)

## 第10条

当委員会の複数のログ管理者は、運用の単位ごとに最新のログデータの集積を行い、次の運用者に提供する。

(QSLの作成・発行)

## 第11条

当委員会のQSL発行担当者はログ管理者のデータに基づき、QSLカードを作成し適宜JARLビューローに発送する。

(機器の管理)

## 第12条

移動局運用を行うものは、特別局の免許状・無線機器及び最新のログデータの受け渡しをする必要がある。

無線機器の受け渡しは、原則的に次の運用者が前の運用者または運用管理者から受け取る。

ただし、運用管理者が受け渡しする場合はこの限りでない。

無線機器の受け渡しを行うものは別に定める「管理簿」に記入しなければならない。

附則

この内規は、2009年12月17日から施行する。

---

## 申請届け出 構成員名簿

(2015年4月時点、氏名のみ抜粋、敬称略)

### 神戸クラブ会員

菅原 倫夫、丸野 隆男、大林 哲也(委員長)、柳原 一成、伊藤 良隆、吉岡 諄、横尾 能範、  
松田 昌久、榎本 秀夫、松本 常德、岡久 和雄(監査役)、上本 勉、村田 博美、橋本 芳幸、  
満田 克己(事務局)、岡田 孝司、久木留 敏之、松岡 晃生、内芝 泰久、岡澤 紀明、富士水 英一、  
松岡 武三、村井 正典、岡崎 弘、松浦 功哲、澤田 定良、小田 昌作、小田 美津子、大角 隆昭、  
西村 忠雄、植田 敏夫、斉藤 直紀、宮崎 英基、前田 和明、高島 貞三、岡田 信司、藤原 均、  
平井 浩司、金澤 伊佐夫、岡本 康嗣、田口 寛(会計)、

### 神戸クラブ会員外

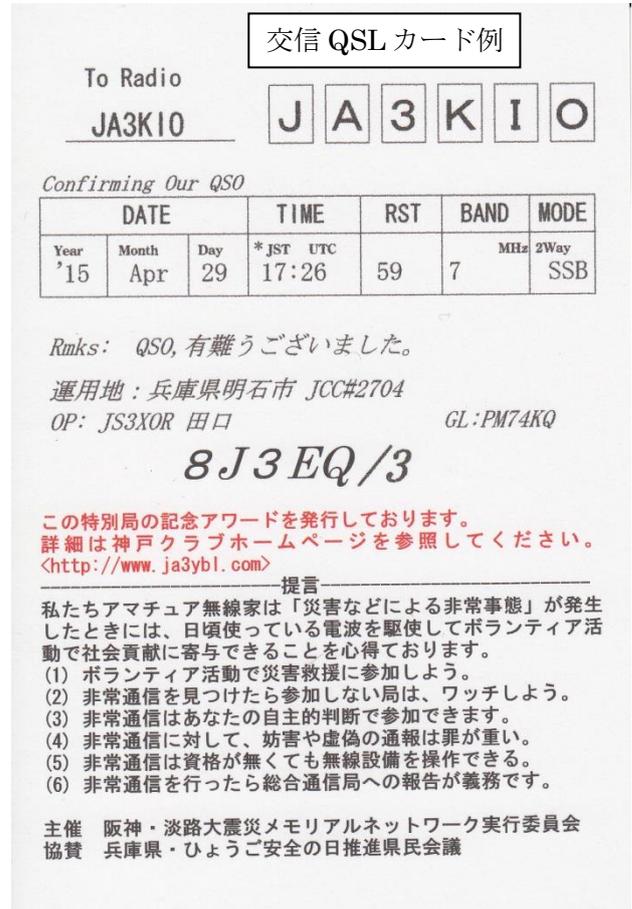
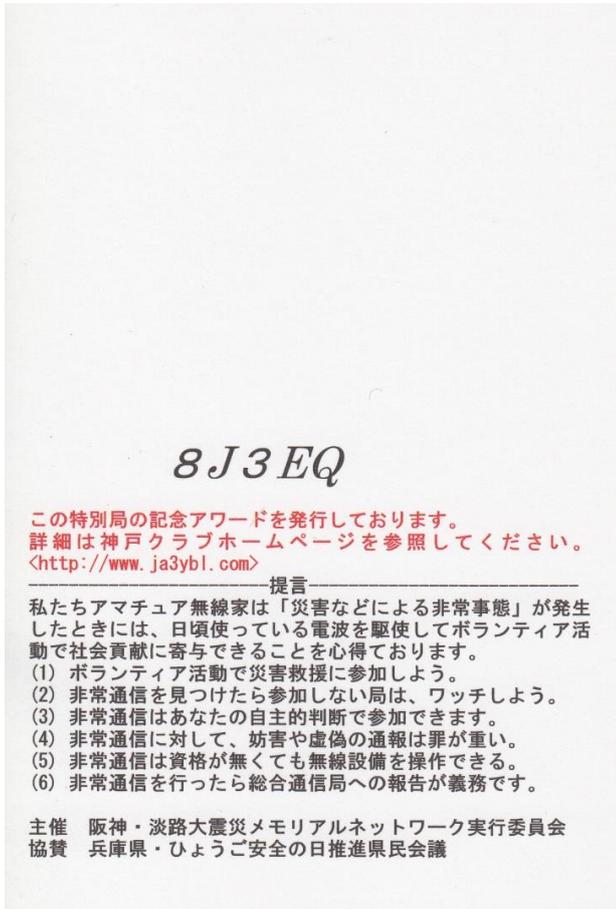
萩原 義修(神戸ポートクラブ)、浮田 欣治(波夢クラブ)、妻鹿 嘉和(姫路クラブ)

## 6) QSL カード

写真面は下記デザインで作成した。神戸港震災メモリアルパーク写真は JA3KQN 岡田氏撮影。



データ面は前回と同様の趣旨文を印刷メーカへ依頼し、交信データはすべてプリンター印字としました。



## 7) 8J3EQ ルミナリエ 20 アワード

今回、阪神淡路大震災 20 のメモリアル特別局を開局するにあたり、下記のルミナリエ 20 アワードを JA9CD/JA3BJH 柳原氏に準備していただき、アワードマネージャーになっていただきました。

詳細は、<http://ja3ybl.com/> または <http://www.8j3eq.net/> を参照。

戻る

# ルミナリエ 20 アワード

## アワード規約

[規約・申請書のダウンロード](#)

このアワードは、5年ぶりに開局した大震災メモリアル特別局8J3EQの発行委員会が発行します。兵庫県が推進する「阪神・淡路大震災20年」事業にちなんで、次の2種類とする。

- (1) 全国の異なる市区町村で運用する特別局 8J3EQと20回の交信を条件としたルミナリエ20 アワード。
- (2) 全国の異なる市区町村で運用する特別局 8J3EQ 及び、兵庫県の異なる各市町で運用するアマチュア無線局合わせて20局と交信することを条件とする ルミナリエ20 兵庫アワード。
- (3) 特別局8J3EQとの交信時には8J3EQのオペレーター名を記録すること。

注: 上記(1)(2)の一つ、もしくは両方を同時に申請できます。  
参考: ルミナリエはイタリア語で Luminarie が語原(イルミネーションのこと)

発行は、2015年2月1日から、終了期限はありません。



## 8) 広報 : CQ 誌での紹介記事

CQ 誌、2015年3月号の記念局運用情報ページに下記原稿内容と開局式写真を掲載していただきました。

### 掲載投稿原稿

#### 阪神淡路大震災 20 年メモリアル特別局、8J3EQ

阪神淡路大震災メモリアルネットワーク実行委員会（委員長 JA3BAM 大林氏）による特別局 8J3EQ が 5 年ぶりに再開局いたしました。この実行委員会は、JARL 神戸クラブ創立 55 周年記念事業として、神戸クラブ員を核とするするボランティア活動での非常通信に賛同する 40 名余りで組織されています。

阪神淡路大震災後、20 年という大きな節目にあたる 2015 年 1 月 17 日に正式開局しました。（2014 年 11 月 1 日～2015 年 1 月 9 日まで準備のためプレ運用。）

#### 開局式とメモリアル公開運用

開局式の会場は、神戸市西区・雌岡山の山上、神出神社境内の移動運用地です。1 月 17 日未明 5 時 46 分のメモリアル時刻に、各エリアでの EQ 特別局の発案者である JA9CD 柳原氏が 7 MHz で CQ を発信しました。同日早朝より会場設営を行い 10 時 30 分より犠牲者への黙とうに続いて開局式を運営スタッフで行いました。開局式のあと、1.9MHz～1200MHz までアンテナ設営し 17 日、18 日と二日にわたり運用いたしました。

近郊のローカル局も応援運用に駆けつけてくださりうれしい限りです。特に震災メモリアル日の運用ということで、各バンドでパイルの歓迎を受け 400 局余りの QSO をすることができました。

#### 今後の予定

今回の特別局 8J3EQ は 2015 年 7 月 16 日まで運用します。期間中、兵庫県内、県外各地に移動運用し QRV します。期間中のグループ移動運用、公開移動運用などを企画しています。ひょうご安全の日推進県民会議・登録事業で、特別局の意義と災害時非常通信の重要性啓発を図りたいと意気込んでおります。

また、これまでの 8J3EQ との交信を含めた「オール兵庫アワード」や「こうべ花時計アワード」に加え、今回の阪神淡路大震災 20 年特別局 8J3EQ との交信を含めた「ルミナリエ 20 アワード」を新たに準備いたしました。下記 JARL 神戸クラブのサイトから、8J3EQ のアワード、関連情報を閲覧できます。

<http://ja3ybl.com/>

#### 掲載写真



## 9) グループ移動運用

### A 開局式及びメモリアル公開運用 (2015年1月17, 18日)

阪神淡路大震災20年メモリアル特別局8J3EQの公開運用を神戸市西区・雌岡山の山上駐車場で行いました。1月17日の早朝、5時46分より前日より泊り込みで準備された有志により運用を開始しました。8時頃にはメモリアルネットワーク実行委員会のメンバーが集合し、17,18日の2日間に渡る本格運用の為にテントの設営、1.9MHzから1200MHzまでのアンテナを設営し開局式を行いました。

犠牲者への黙とうに続き、実行委員長 JA3BAM 大林氏より開局の挨拶を頂きました。

「このイベントを成功させるよう皆様と一体になって頑張りたいと思います。」

続いて神戸クラブ JA3KQN 岡田会長の挨拶、事務局 JA3KIO 満田氏によるスケジュール説明、JA3BJH 柳原氏により運用ノウハウを教わった後、記念撮影を行い本格運用を開始しました。

開局式参加局 JA3KUL, JM1DXX, JR3EOI, JO3FHY, JA3BJH(JA9CD), JH3HGH, JI3MAD  
JA3JTU, JA3KIO, JA3KQN, JA3BAM, JA3LUW

(早朝より設営/運用いただいた JH3AJX、JS3XOR は所用の為帰宅されました)

午後には加古川のクラブ局「波夢倶楽部」JL3YWC より、JN3EIF、JM3GDE 両氏が応援に駆けつけてくださりうれしい限りです。ありがとうございました。

2日間の運用で約500局をログインし18日午後3時頃シャットダウンしました。



### B 淡路市 JA3AOP 杉山様シャック訪問と移動運用 (2015年3月1日)

3月1日、淡路サービスエリアに、JA3BAM, JR3EOI, JH3HGH, JA3KIO, JA3JTU の5名と車4台が集合しました。ハイウェイオアシスに車3台を乗り捨て、全員がJA3BAM 大林氏の車1台に同乗して、途中、スーパーで昼食を購入後、淡路島東海岸別荘地「海平の郷」に隣接した海拔約100mの高台にある杉山様のシャックへ向かいました。

2本のタワーに、キッチン・トイレ・シャワーが装備され、6人が就寝できるFBなトレーラーハウスのシャックです。

シャックの片隅とアンテナ(DB36)をお借りして、14時頃から2時間30分程7MHz SSBで8J3EQ/3を運用しました。多くの局に呼んでいただきましたが、聞こえずぎてパイルを裁ききれずに122局しかQSOできませんでしたが、貴重な体験をすることができました。



左から JH3HGH JA3BAM JR3EOI JA3JTU JA3KIO JA3AOP

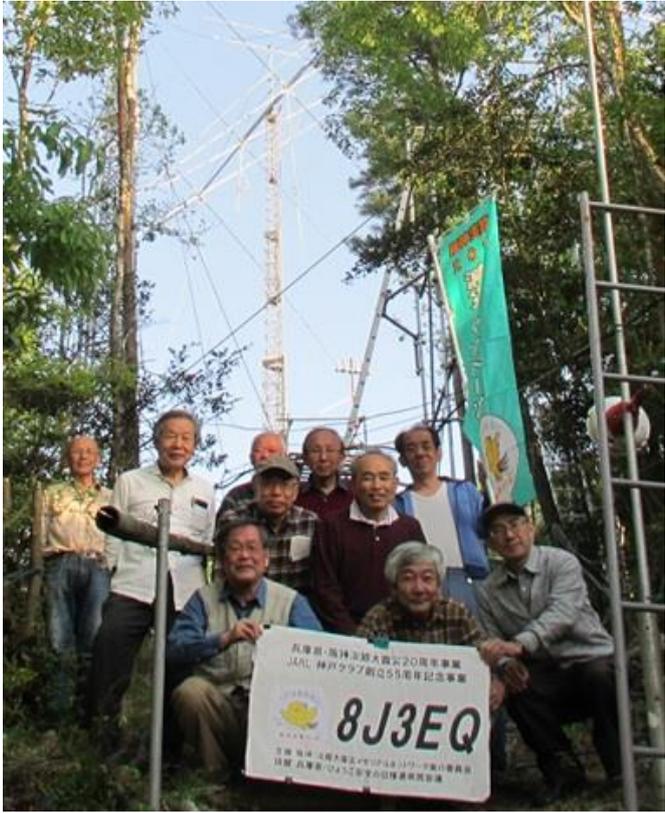
**C 上郡町 JA3EGZ 妻鹿さん山頂シャック見学&運用 (2015年5月5, 6日)**

5月5日、6日 上郡町 JA3EGZ 妻鹿さん山頂シャックへお邪魔し見学&8J3EQ運用を行いました。5月5日に第二神明道路 明石サービスエリア (姫路行側) に9:00に集合し出発。

JA3JTU局、JA3DFM局とは途中合流し11:30頃に上郡町播磨自然高原 JA3EGZ 妻鹿さん山頂シャック到着、見学させていただきました。山頂にそびえる7MHzフルサイズ3エレクワッドの威容にはた

ただただ驚くばかりです。播磨自然高原内レストランで昼食後山頂シャックのアンテナ借用し8J3EQ/3の運用を行いました。

当日宿泊組(貸別荘利用)は、夜間運用、6日AMも運用サービスし、延べ231局にサービスしました。JA3EGZ局には大変お世話になりました。ありがとうございました。



後列左から

- JA3BJH, JA3DFM
- JA3KQN, JA3BAM
- JA3EGZ(妻鹿氏)

中列

- JA3AQE, JA3BXF

前列左から

- JA3JTU, JH3HGH
- JA3KIO

## D 洲本市 500m級 山頂での移動運用 (2015年5月9, 10日)

場所は神戸クラブでは初めての移動地となる淡路島洲本市の500m級の山です。

5月9日 11:00 に神戸淡路鳴門自動車道 室津パーキングエリア (洲本行側) に集合し途中、洲本イオンショッピングセンターにて昼食、食料購入後、一路現地を目指しました。

アンテナ、ポール、ケーブル、発発など JR3EOI 局に準備 いただき、前日より設営していただきました。

当日は関西 VHF コンテスト (5月9日 21:00~5月10日 12:00) チェックログ扱いで参加しました。

両日の関西VHVコンテストを含む交信局数は延べ 1065 局になりました。



5月9日 集合写真



5月10日 集合写真

## E 播磨町 移動運用(2015年7月5日)

最終のグループ移動運用は、参加しやすい近場ということで、播磨町の新島南端で行いました。V/UHFは6mダウンコンテストにも参加しました。最後のグループ移動運用を飾るにふさわしく大変多くの局にご参加いただきました。



後列 JA3BQC, JH3HGH, JS3XOR, JI3MAD, JA3KQN, JA3KUL, JP3ELG, JH300I

前列 JA3JTU, JA3AQE, JA3GGF, JA3KIO, JA3BAM

## 10) QSO 交信結果 総数、地域別、モード別、オペレータ別

(以下、ログ管理担当 松浦氏要約データより)

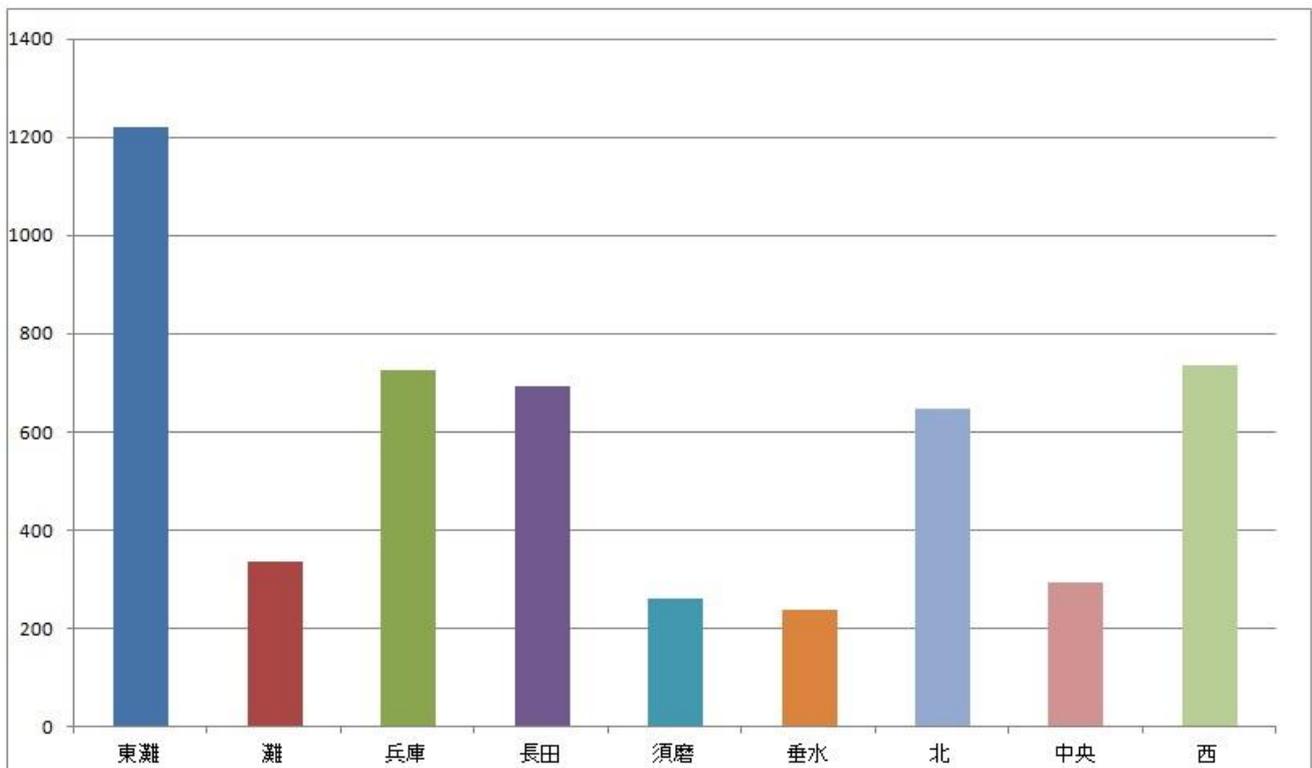
### 交信数総計

2014年11月4日 ~ 2015年 7月16日 合計 【13,842 QSO】

(兵庫県 全市区町で移動運用)

### 神戸市内 交信数

AJA		局数
270101	東灘	1221
270102	灘	337
270103	兵庫	727
270104	長田	693
270105	須磨	259
270106	垂水	239
270107	北	646
270108	中央	294
270109	西	736
合計		5152

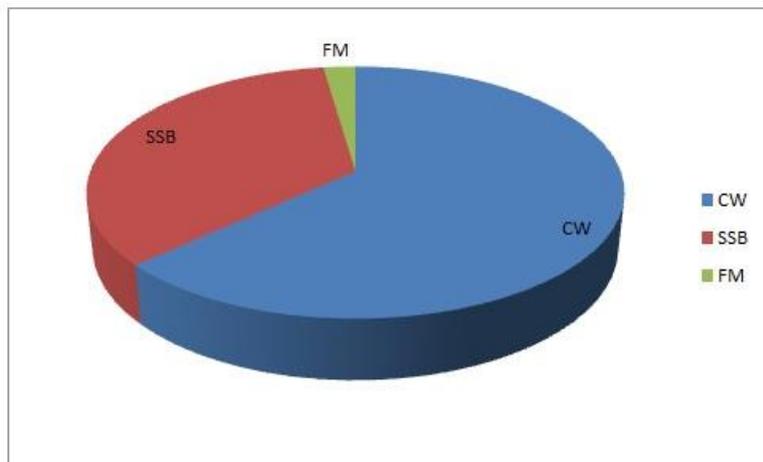


神戸市外 交信数

JCC		局数
2702	姫路市	135
2703	尼崎市	165
2704	明石市	792
2705	西宮市	239
2706	洲本市	1174
2707	芦屋市	173
2708	伊丹市	141
2709	相生市	32
2710	豊岡市	98
2711	加古川市	50
2713	赤穂市	470
2714	西脇市	335
2715	宝塚市	180
2716	三木市	445
2717	高砂市	76
2718	川西市	143
2719	小野市	322
2720	三田市	324
2721	加西市	116
2722	篠山市	196
2723	養父市	116
2724	丹波市	68
2725	南あわじ市	160
2726	朝来市	124
2727	淡路市	134
2728	宍粟市	60
2729	加東市	251
2730	たつの市	314
27001A	赤穂郡上郡町	231
27005D	揖保郡太子町	89
27007A	加古郡稲美町	172
27007B	加古郡播磨町	304
27010A	川辺郡猪名川町	166
27011A	神崎郡市川町	65
27011C	神崎郡福崎町	78
27011F	神崎郡神河町	73
27013C	佐用郡佐用町	63
27016E	多可郡多可町	138
27020E	美方郡香美町	79
27020F	美方郡新温泉町	119
2805	富山県氷見市	108
2910	福井県坂井市	104
3005	石川県珠洲市	68
19合計		8690

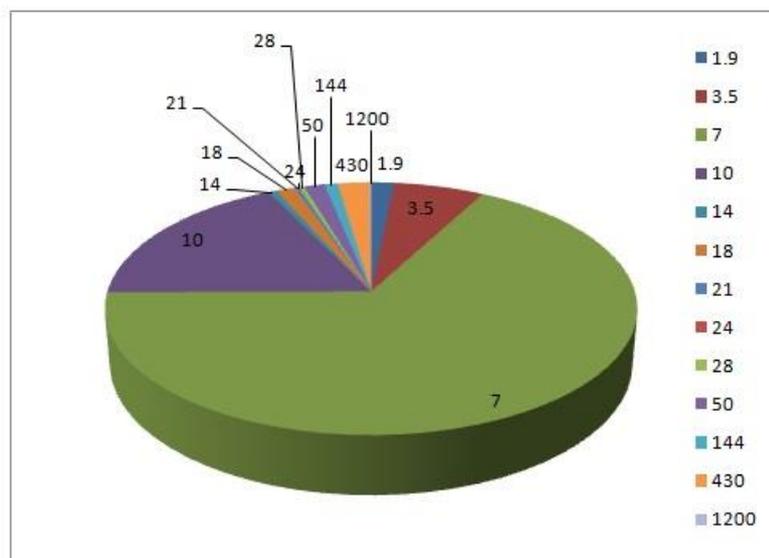
【モード】

モード	局数
CW	8737
SSB	4792
FM	313
合計	13842



【バンド】

バンド	局数
1.9	219
3.5	869
7	9281
10	2476
14	76
18	183
21	42
24	0
28	51
50	198
144	127
430	304
1200	16
合計	13842



オペレータ別

オペレータ	QSO数
JA3 BAM	84
JA3 BHO	92
JA3 BXF	105
JA9 CD	923
JM1 DXX	1
JA3 EGZ	4
JN3 EIF	32
JP3 ELG	17
JR3 EOI	4060
JO3 FHY	12
JH3 HGH	106
JA3 JTU	419
JA3 KIO	6005
JA3 KQN	671
JA3 LUW	5
JS3 XOR	1306
合計	13842

## 1 1) ロールコール実施結果

8J3EQ 運用の期間、2、3、4、5、6月の5回、非常災害時の無線通信に備えた8J3EQ運用によるロールコールを行いました。

コールサイン、信号レポート、QRA、QTH データを交換。

JR3WP レピータ (439.68MH z FM) 利用した一般アマチュア無線局を対象としたロールコール。

実施日時	MC 担当 コールサイン QTH	参加局
2015年2月7日	JA3KIO 神戸市東灘区	JA3JTU JA3KQN JA3BAM JF3AUM JS3XOR JH3HGH JA3AQE JA3EGZ JA3AYN JA1SSB/3 JL3HYY/3 JI3MAD/3 JA3AQW/3
2015年3月7日	JA3BAM 神戸市須磨区	JA3JTU JO3FHY JF3AUM JA3AQE JS3XOR JH3HGH JA3BQC JA3BHO JA3KQN 8N3HC
2015年4月11日	JA3KQN 神戸市兵庫区	JA3BAM JA3KIO JA3AQE JA3BQC JO3FHY JA3ANY JS3XOR JA9CD /3 JF3AUM JH3HGH JA3EG Z JA3JTU JM1DXX/1
2015年5月9日	JH3HGH 兵庫県洲本市	JI3MAD JR3DNL JA3BAM JA3KIO/3 JA3AQE JO3FHY JS3XOR/3 JA3KQN
2015年6月13日	JA3AQE 兵庫県明石市	JO3FHY/3 JA3JTU JA3KIO JH3HGH JA3BAM/3 JS3XOR

## 1 2) 会計報告

会計担当 JS3X0R 田口氏会計決算書より抜粋

省略

### 1 3) 結び

神戸クラブ 55 周年記念行事、阪神淡路大震災 20 年メモリアル特別局 8J3EQ 運用 が 2015 年 7 月 16 日で終了しました。

2014 年 1 月からの開局準備検討、兵庫県への登録申請、近畿総合通信局への開局手続、そして 2014 年 11 月から約八か月にわたる運用と、長期間のご協力ありがとうございました。

総交信数は 13,842 QSO です。前回 (15 周年) に比べ、移動運用を担当していただく方が少なく、2, 3 人の運用メンバーで 8 割近くの QSO を占める結果になりましたが、運用期間中 5 回のグループ移動運用では多くの方々にご参加いただき有難うございました。

FD コンテスト以外に余り CQ を出す機会の少なくなった神戸クラブですが、この半年余りは各地へグループ移動運用いたしましたので一味違った充実した活動になったのではないかと思います。

運用期間に応答いただいた交信各局、移動運用時にアンテナなどをお借りし大変お世話になった JA3AOP 局と JA3EGZ 局、移動運用の際に応援に駆けつけていただいた各局、そのほか関係方々に改めてお礼申し上げ、結びの言葉と致します。

実行委員長 JA3BAM 大林  
事務局 JA3KIO 満田

(追記)

なお、実行委員会議事録及び、移動運用詳細は、JARL 神戸クラブ会報 (2014 年 2 月号～2015 年 8 月号) にも、掲載されておりますので、ご参照下さい。